

## 2019年（令和元年）後期全体講座挨拶

おはようございます。ようこそ後期全体教養講座にお越しいただきありがとうございます。

私は新しく学長に就任しました吉川です。高橋前学長の辞任を受けて就任することになりました。年度途中ということもあり学長を引き受けても責任をもって十分な役割を果たすことができるだろうか、また北部市民大学を途中やめすることはできないいななどと逡巡しました。

しかし、ここにいます飛田学長補佐も一緒に就任させていただくということになりましたので、北部市民大学の学長を兼任するというご受けすることといたしました。よろしくお願いいたします。

45年という歴史と伝統を誇ります福山市老人大学を学生の皆さん、講師の先生方そして事務局と一緒に当老人大学を盛りたてていきたいと考えています。高橋前学長のときと変わらないようご協力をお願いします。

今年はどういうことでしょうか、大変暑い日が続いています。しかし、確実に秋の訪れは感じられるようになってきました。さて、秋といえば私にとっては食欲の秋、それぞれがいろいろな秋を感じておられると思いますが、本日老人大学にとっては「芸術の秋」を堪能していただきたいということで計画いたしております。

老人大学の全体教養講座として「秋に聴く 心の歌」と題しまして池田尚子（いけだひさこ）先生のソプラノの歌声、藤田意作（ふじたいさく）先生のピアノ伴奏による演奏会お届けします。

講師のお二人を紹介します。

福山市在住、そしてノートルダム清心女子大学の准教授でご活躍のソプラノ歌手の池田尚子先生を紹介します。先生は京都市芸術大学音楽部声楽専修科を卒業され、第19回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位、第21回奏楽堂日本歌曲コンクール3位受賞など輝かしい受賞記録を持っておられるとともに、オペラの「椿姫」や「蝶々夫人」などで主演されました。さらに近年はイスラエルやボストンなどで度々演奏会を開催されています。

藤田意作先生は、久石譲さんと一緒に映画音楽を製作するなど実力派で「イスラエルを音にする作曲家」とイスラエルの番組で紹介されています。

本日は、一部がリサイタル、二部はみんなで歌いましょうとなっています。どうぞお楽しみください。